

平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月10日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 アテクト

コード番号 4241 URL <http://www.atect.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小高 得央

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長兼製造本部長 (氏名) 香川 恵一

四半期報告書提出予定日 平成24年8月10日

TEL 072-967-7000

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	655	1.5	61	—	38	—	47	—
24年3月期第1四半期	645	△28.1	△83	—	△106	—	△97	—

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 27百万円 (—%) 24年3月期第1四半期 △102百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	14.21	—
24年3月期第1四半期	△29.32	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	3,566	817	22.3
24年3月期	3,687	789	20.8

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 793百万円 24年3月期 766百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成25年3月期の配当につきましては、現時点においては未定です。

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,137	△11.3	44	—	20	—	2	—	0.81
通期	2,219	△11.0	102	—	52	—	10	—	3.05

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

業績予想は精査中であり、現在の連結業績予想は修正いたしません。業績予想が出来次第、必要に応じて開示いたします。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(3)会計方針の変更、会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期1Q	3,506,000 株	24年3月期	3,506,000 株
② 期末自己株式数		25年3月期1Q	172,175 株
		24年3月期	172,175 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)		25年3月期1Q	3,333,825 株
		24年3月期1Q	3,333,825 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1.	当四半期決算に関する定性的情報	2
	(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
	(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
	(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2.	サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
	(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
	(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
	(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3.	四半期連結財務諸表	5
	(1) 四半期連結貸借対照表	5
	(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
	四半期連結損益計算書	
	第一四半期連結累計期間	7
	四半期連結包括利益計算書	
	第一四半期連結累計期間	8
	(3) 継続企業の前提に関する注記	9
	(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
	(5) 重要な後発事象	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、欧州の金融危機再燃の恐れや、米国、中国の景気減速懸念等を背景に安定を欠いた状況が続いております。

日本においては、企業業績の見通しには明るい兆しもみられる一方で、電力需給の逼迫懸念もあり、なお先行きには不透明感が漂っております。

当社グループにおきましては、前連結会計年度に計上した多額の特別損失を伴う事業構造改革により、固定費の圧縮、事業・拠点の選択等を実施した結果、業績の回復が目に見える形で実現して参りました。

当社グループの中核事業の一つである半導体資材事業については、市況の回復と生産性向上により収益が急速に回復しました。

また、もう一つの中核事業である衛生検査器材事業については、増収・増益となっております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は655百万円（前年同期比1.5%増）、営業利益61百万円（前年同期は83百万円の営業損失）、経常利益38百万円（前年同期は106百万円の経常損失）、四半期純利益47百万円（前年同期は97百万円の四半期純損失）となりました。

セグメントの概況は次のとおりであります。

なお、当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

① 半導体資材事業

半導体資材事業につきましては、前第3四半期連結会計期間を底とする販売数量の低迷からは脱し、想定を大きく上回る販売数量を達成しました。また生産拠点の海外2拠点への集約による合理化推進により営業利益を大幅に改善できました。また今後一部タブレット型端末製造工程でドライバーICが使用される可能性も出てきた為当社製品の使用量が増加傾向になる事も期待されます。

安泰科科技股份有限公司（台湾法人）と株式会社アテクト코리아（韓国法人）の海外2拠点での生産については、受注の増減があった場合であっても安定した利益を計上できる生産体制を構築するよう努めております。

以上の結果、半導体資材事業の売上高は211百万円（前年同期比13.2%減）となり、営業利益は20百万円（前年同期は32百万円の営業損失）となりました。

② 衛生検査器材事業

衛生検査器材事業につきましては、新規顧客開拓に加え、過去受注実績がありながら、最近の受注が途絶えていた顧客からの受注復活を営業伸長の基本としてテレマーケティングを推進した結果、当第1四半期連結累計期間で345件の新規顧客及び受注復活を獲得しました。

以上の結果、衛生検査器材事業の売上高は、369百万円（前年同期比8.2%増）となり、営業利益は、40百万円（前年同期は10百万円の営業利益）（前年同期比282.4%増）となりました。新製品については第2四半期連結会計期間に3品を投入する準備を進めております。

③ P I M（パウダー・インジェクション・モールドィング）事業

PIM事業につきましては、主力製品であるバインダー（射出成形用の助剤）がスマートフォン・タブレット型端末等の外装部品に採用され販売実績が拡大しております。当社は更なる事業の伸張を狙い、中国マーケットを中心に営業展開を行っております。また、CIM（セラミック・インジェクション・モールドィング）製法で製造したセラミックス製ヒートシンクにおいてセラミックが持つ特徴を最大限に引き出し、機械加工等では不可能な、当社独自の複雑な三次元形状が可能となることから、その技術と性能において高い評価を頂いております。

以上の結果、PIM事業の売上高は、7百万円（前年同期比83.2%増）となり、営業損失は、5百万円（前年同期は34百万円の営業損失）となりました。

④ その他

その他はプラスチック造形事業とポリマー微粒子事業にて構成しております。

その他売上高は、69百万円（前年同期比13.6%増）となり、営業利益は6百万円（前年同期は27百万円の営業損失）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

総資産は、前連結会計年度末に比べ3.3%減の3,566百万円となりました。
総資産の主な減少要因は、「受取手形及び売掛金」が91百万円減少したこと等によるものであります。

(負債)

負債は、前連結会計年度末に比べ5.1%減の2,748百万円となりました。
負債の主な減少要因は、「長期借入金」が89百万円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ3.6%増の817百万円となりました。
純資産の主な増加要因は、四半期純利益の計上により「利益剰余金」が47百万円増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年5月14日発表の通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

(連結の範囲の重要な変更)

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、これによる当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	828,944	908,064
受取手形及び売掛金	413,143	322,084
商品及び製品	112,367	94,250
仕掛品	15,978	19,281
原材料及び貯蔵品	149,089	81,265
繰延税金資産	13,103	10,257
未収還付法人税等	10,835	10,835
その他	15,200	59,699
貸倒引当金	△1,745	△1,768
流動資産合計	1,556,918	1,503,969
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	589,934	565,987
機械装置及び運搬具（純額）	404,129	365,364
土地	769,974	769,974
建設仮勘定	4,285	5,247
その他	13,007	11,179
有形固定資産合計	1,781,332	1,717,753
無形固定資産		
その他	15,482	14,194
無形固定資産合計	15,482	14,194
投資その他の資産		
投資有価証券	1,840	1,920
繰延税金資産	270,919	271,436
未精算勘定	130,050	130,050
その他	69,025	64,583
貸倒引当金	△138,260	△137,672
投資その他の資産合計	333,575	330,317
固定資産合計	2,130,389	2,062,265
資産合計	3,687,307	3,566,234

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	206,254	216,817
短期借入金	608,035	568,500
1年内返済予定の長期借入金	481,576	436,929
1年内償還予定の社債	220,000	220,000
リース債務	81,962	105,976
未払金	50,953	55,730
未払法人税等	4,103	2,365
賞与引当金	14,882	16,767
設備関係支払手形	766	766
その他	55,675	93,773
流動負債合計	1,724,208	1,717,625
固定負債		
社債	349,389	349,593
長期借入金	609,516	520,507
リース債務	202,991	153,752
繰延税金負債	271	171
その他	11,574	7,084
固定負債合計	1,173,743	1,031,109
負債合計	2,897,952	2,748,734
純資産の部		
株主資本		
資本金	729,645	729,645
資本剰余金	649,645	649,645
利益剰余金	△403,172	△355,788
自己株式	△99,429	△99,429
株主資本合計	876,688	924,072
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	330	382
為替換算調整勘定	△110,345	△130,640
その他の包括利益累計額合計	△110,014	△130,257
新株予約権	22,680	23,685
純資産合計	789,354	817,500
負債純資産合計	3,687,307	3,566,234

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	645,802	655,537
売上原価	411,547	360,443
売上総利益	234,255	295,093
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	81,583	61,399
賞与引当金繰入額	14,356	11,709
貸倒引当金繰入額	—	144
その他	222,310	160,210
販売費及び一般管理費合計	318,250	233,464
営業利益又は営業損失(△)	△83,995	61,629
営業外収益		
受取利息	1,083	563
貸倒引当金戻入額	175	—
受取賃貸料	—	1,437
助成金収入	—	560
その他	1,244	584
営業外収益合計	2,503	3,145
営業外費用		
支払利息	9,128	8,388
社債利息	1,985	1,640
減価償却費	4,505	2,844
為替差損	6,638	11,075
その他	2,439	2,810
営業外費用合計	24,697	26,759
経常利益又は経常損失(△)	△106,189	38,015
特別利益		
固定資産売却益	—	1,266
関係会社株式売却益	—	9,090
特別利益合計	—	10,357
特別損失		
固定資産除却損	—	182
その他	—	86
特別損失合計	—	268
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△106,189	48,105
法人税、住民税及び事業税	815	2,761
法人税等調整額	△9,249	△2,039
法人税等合計	△8,434	721
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△97,754	47,383
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△97,754	47,383

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△97,754	47,383
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	58	51
為替換算調整勘定	△5,285	△20,294
その他の包括利益合計	△5,227	△20,243
四半期包括利益	△102,981	27,140
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△102,981	27,140
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) 重要な後発事象

該当事項はありません。